

2024年3月27日

各位

会社名 日本農産工業株式会社

代表者名 代表取締役 小山 剛

問合せ先 経営企画部長 和田 有史

(TEL: 045-224-3717)

昆虫原料を給餌した養殖魚の試食会実施に関するお知らせ

日本農産工業株式会社（本社：神奈川県横浜市／代表取締役 社長執行役員：小山 剛／以下「弊社」）は、持続可能な社会の実現に向け、事業活動を通して貢献すべく取り組んでおります。

この度、水産飼料事業において、ニチモウ株式会社、住友化学株式会社、昭和興産株式会社との4社共同でフルーツフライ（昆虫原料）を配合した新規飼料の開発を進めてまいりました件に関し、当該飼料で飼育された養殖魚の試験が終了し、試食会が開催されました。

1. 背景

水産養殖飼料の原料は主に天然資源を由来とする魚粉となっており、天然資源の減少や価格の高騰等が問題視されています。養殖魚の安定的な供給ならびに養殖業の持続可能な発展のためには、天然資源に依存しない環境負荷の低い水産養殖飼料の開発が喫緊の課題です。

2. 取り組み概要

弊社では継続的に環境負荷低減の取り組みのための研究を実施しています。その一環として、ニチモウ株式会社、住友化学株式会社、昭和興産株式会社との4社共同プロジェクトにて工業的に生産可能なフルーツフライ（Flying SpArk社、本社：イスラエル、生産国：タイ）に着目し、弊社は試験飼料の開発に携わってまいりました。この度、当該飼料を用いて育成したトラウトサーモン・ウナギの試験が無事終了し、昭和興産株式会社主催にて試食会が実施されました。

弊社では本件に限らず持続可能な社会の実現のため、代替蛋白原料の探求や種苗生産の確立に向けた飼料開発など、飼料メーカーとして貢献できる課題に今後も取り組んでまいります。

以上